

平成25年度第2回全国バリアフリーネットワーク会議

地方局における取組について

平成26年1月17日

北海道ブロックにおけるバリアフリー施策 の取組みについて

北海道開発局・北海道運輸局
平成26年1月

現地のバリアフリーリーダーとの連携により、道内各地で様々な形態のバリアフリー教室を実施。

フェリーターミナル(小樽市)(開発局と共催)

(開催日時)

平成25年7月8日(月)
9:00~12:40

(実施概要)

- ・参加者は小学生及び新日本海フェリー社員。
- ・船内にて、車いすと視覚障がいの擬似体験及び介助体験を実施。
- ・開発局からミニ講座として「道路のバリアフリー」を紹介。



地下鉄宮の沢駅(札幌市)

(開催日時)

平成25年10月10日(木)
9:30~15:00

(実施概要)

- ・参加者は中学生。
- ・駅構内にて車いすと視覚障がいの擬似体験及び介助体験のほか、盲導犬講習を実施。



有珠山ロープウェイ(壮瞥町)

(開催日時)

平成25年11月20日(水)
13:00~15:30

(実施概要)

- ・参加者は壮瞥町及び洞爺湖町観光関係者。
- ・車いすと視覚障がいの擬似体験及び介助体験を実施。



十勝バス(帯広市)

(開催日時)

平成25年11月22日(金)
9:30~11:30

(実施概要)

- ・参加者は十勝地区バス協会会員事業者の運転手。
- ・車いすと高齢者の擬似体験及び介助体験を実施。



「函館バリアフリーボランティアプロジェクト2013 研修会」

平成20年度に、函館で道内初の「バリアフリーボランティアプロジェクト実証実験」を北海道運輸局主催（公共交通活性化プログラム事業）で実施。平成21年度より地元のNPO法人スプリングボードユニティ21が中心となり、「函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会」が発足、函館市の補助事業として平成23年度までの3年間実施され、平成25年度に研修会のメニューを見直し、新たに補助事業として認められた。

この研修会は、事前に募集したボランティアが、JR函館駅において、障がい者など、函館を訪れる方々が快適に移動できるよう、車いすの介助や施設内及び他の公共交通機関への誘導や観光案内などのお手伝いをするにあたり、適切な行動がとれるよう事前に学んで頂くものであり、北海道運輸局函館運輸支局が後援していることから、国土交通省が進める「心のバリアフリー」社会の実現に向けての取組みなどについて、講演を行った。

（実施概要）

日 時：平成25年9月28日(土)及び29日(日)の
9:30～15:30

会 場：函館市地域交流まちづくりセンター

内 容：①北海道運輸局の取組み等

②高齢者・障がい者に対する対応等（北海道大学）

③視覚障がい者・車いす利用者への接遇と介護、屋内
実習（エレベーター等）、屋外実習（研修会場～
JR函館駅まで路面電車に乗車しての移動等）
（NPO法人手と手）

④質疑応答

受講者：事前に募集した18歳以上の者 20名程度

※平成25年11月16日(土)及び17日(日)の2日間、
研修受講歴のある者から、各日10名程度を募集のうえ、
JR函館駅において、ボランティア活動を実践。

函館バリアフリーボランティアプロジェクト2013
バリアフリーボランティア研修会
無料 受講者募集!
募集締切 9.20(金)まで
定員20名
ボランティアスタッフの活動内容
募集内容
応募資格: 18歳以上

北海道新聞 2013年(平成25年)9月29日(日曜日)

障害者らの移動お手伝い

疑似体験など通じ介助技術学ぶ

学生や主婦 函館で研修会
や高齢者、観光客の移動や観光案内について学んだ。市民グループ「函館バリアフリーボランティア」が28日、市地
域交流まちづくりセンターで、市内の障がい者や高齢者など、函館を訪れる方々が快適に移動できるよう、車いすの介助や施設内及び他の公共交通機関への誘導や観光案内などのお手伝いをするにあたり、適切な行動がとれるよう事前に学んで頂くものであり、北海道運輸局函館運輸支局が後援していることから、国土交通省が進める「心のバリアフリー」社会の実現に向けての取組みなどについて、講演を行った。

研修会の参加者は11月16、17の両日、同センターで障がい者の移動の手伝いや観光案内を行う。研修会は、市民グループ「函館バリアフリーボランティア」が主催。参加者は、障がい者や高齢者の移動や観光案内について学んだ。市民グループ「函館バリアフリーボランティア」が28日、市地域交流まちづくりセンターで、市内の障がい者や高齢者など、函館を訪れる方々が快適に移動できるよう、車いすの介助や施設内及び他の公共交通機関への誘導や観光案内などのお手伝いをするにあたり、適切な行動がとれるよう事前に学んで頂くものであり、北海道運輸局函館運輸支局が後援していることから、国土交通省が進める「心のバリアフリー」社会の実現に向けての取組みなどについて、講演を行った。

委員会の主催。大学
生や主婦ら19、20歳の
計14人が参加した。
研修会では、バリア
フリー施設を紹介した
地図の必要性や障がい
者の介助についての講
義が行われた。その後、
JR函館駅から市役所
まで、参加者がアイマ
スクを着用して車い
すに乗ったりして、介
助技術を学んだ。
函館大入間専攻
1年でボランティアサ
ークルで活動する佐藤
まゆさん(19)は「車い
すに乗るなどの体験が
勉強になった」と話し
た。

車いすに乗るなどの疑似
体験を通じ介助技術を学
ぶ参加者たち

平成24年度

日 時 平成25年3月11日（月） 14:00～16:00

場 所 北海道運輸局内会議室

参加者 バリアフリーリーダー9名、交通事業者等（札幌市交通局、北海道バス協会、北海道ハイヤー協会、北海道旅客船協会、羽幌沿海フェリー（株））、北海道開発局、北海道運輸局

- 概 要
- ・北海道運輸局より、「バリアフリー表彰」、「バリアフリー施策の取組状況」、「全国バリアフリーネットワーク会議」などについて報告。
 - ・バリアフリー事例紹介として、「羽幌～天売航路」を運航している羽幌沿海フェリー（株）より、「誰にでも優しい離島航路を目指して」と題して、平成25年4月から就航した新造船「さんらいなあ2（高速船）」及び時を同じく営業開始することとなった「羽幌港フェリーターミナル（新築）」のバリアフリー対応、ユニバーサル仕様の各設備等についてご紹介頂いた。
また、フェリーターミナルまでのアクセスが向上される「連絡バス 観音崎らいなあ号」の運行開始についても説明頂いた。
 - ・参加者による意見交換（内容については、交通事業者等への意見・要望のほか、地域連絡会議の運営等について）。
 - ・平成25年3月12日（火）札幌市営地下鉄 真駒内駅 バリアフリー施設見学を実施。



近年、過疎化の進行や少子高齢化の進展により、障害者や要介護者など、移動制約者の福祉輸送に対するニーズは高まっているところである。このような状況の中、タクシーはドアツードアの輸送が可能な唯一の公共交通機関であり、福祉輸送サービスの担い手として大いに期待されているが、タクシー事業者が積極的に福祉輸送に取り組んでいるとはいえないのが実情である。一方、介護・福祉施設においては、送迎輸送を旅客自動車運送事業者に委託せず、自ら福祉車両を保有・運行している者も多い。そこで、タクシー事業者と介護・福祉施設が連携する仕組みについて調査・検討する。

平成24年3月には、健常者も含めた様々な人々が利用でき、流し営業も可能な「ユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）」の認定制度が創設されたところであり、UDタクシーの活用例も含めた検討を行う。

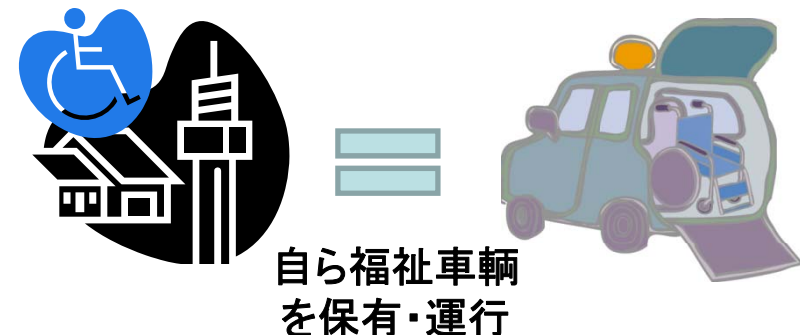
現状

タクシー事業者



- ・福祉輸送のニーズが把握されていない
- ・福祉車両の導入費が割高
- ・福祉車両を導入しても、顧客が特定され、利益が上がらない

介護・福祉施設



- ・車両管理経費（維持費、駐車場等）の負担
- ・運転手の労務管理が煩雑
- ・輸送の安全性の確保に課題

東北ブロックにおけるバリアフリー施策の 取組みについて

東北地方整備局・東北運輸局
平成26年1月17日

1. バリアフリー教室の取組状況①

急速な高齢化や障がい者の自立と社会参加の要請に適切に対応し、高齢者、障がい者等が公共施設等を円滑に利用できるようにするため、施設整備（ハード面）だけではなく、手助けがしやすい環境づくり（ソフト面）を行うという観点から、高齢者、障がい者の擬似体験、介助体験を通し、バリアフリーについての理解を深めてもらい、意識の高揚を図り「心のバリアフリー」社会の実現を目指す。

平成25年度の開催状況

会 場 名	場 所	日 程	参加対象者	参加人数	主 催	備 考
仙台市	仙台医療福祉専門学校	4月22日	専門学生	74	東北運輸局	交通環境学習と同時開催
仙台市	仙台医療福祉専門学校	4月24日	専門学生	73	東北運輸局	交通環境学習と同時開催
仙台市	仙台医療福祉専門学校	6月3日	専門学生	61	東北運輸局	交通環境学習と同時開催
仙台市	仙台医療福祉専門学校	6月5日	専門学生	31	東北運輸局	
仙台市	勾当台公園駅	6月14日	北中山小学校4年生	60	東北運輸局	共催：仙台市交通局
仙台市	北中山小学校	6月20日	北中山小学校4年生	62	東北運輸局	
仙台市	東宮城野小学校	7月17日	東宮城野小学校4年生 荒浜小学校4年生 保護者	66	宮城運輸支局	共催：仙台市、仙台市交通局、宮城野区社会福祉協議会
仙台市	仙台第四合同庁舎	7月30日	国土交通Day施設見学会参加者	19	東北運輸局	
仙台市	日本製紙クリネックススタジアム宮城	9月12日	榴岡小学校3年生 原町小学校3年生	191	東北運輸局	共催：東北地方整備局 協力：宮城野区社会福祉協議会、楽天野球団、NPO法人ゆにふりみやぎ、みやぎ障害者陸上競技協会
大館市	川口小学校	9月6日	川口小学校3年生、4年生	53	秋田運輸支局	協力：秋北バス株式会社
仙台市	勾当台公園	9月15日	宮城バスまつり来場者	17	東北運輸局	
南陽市	JR赤湯駅	10月8日	利郷小学校4年生	15	山形運輸支局	共催：東北地方整備局山形河川国道事務所、南陽市、社会福祉法人南陽市社会福祉協議会、社会福祉法人山形県社会福祉協議会
石巻市	門脇小学校	10月24日	門脇小学校4年生	28	東北運輸局	共催：東北地方整備局
大館市	大館樹海ドーム	10月26日～27日	大館圏域産業祭産業教育展（バリアフリー体験）来場者	152	秋田運輸支局	協力：秋北バス株式会社
秋田市	寺内小学校	10月29日	寺内小学校4年生	69	秋田運輸支局	協力：秋田中央交通株式会社
仙台市	地下鉄富沢駅	11月6日	仙台市交通局職員	21	東北運輸局	
仙台市	南中山小学校	11月14日	南中山小学校4年生	103	東北運輸局	共催：東北地方整備局、仙台市泉区社会福祉協議会
盛岡市	ふれあいランド岩手	11月19日	バス乗務員 タクシー乗務員	55	岩手運輸支局	共催：岩手県バス協会、岩手県タクシー協会、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会
郡山市	トラック協会研修センター	11月27日	乗合バス乗務員	16	福島運輸支局	共催：公益社団法人福島県バス協会 協力：福島県、公益社団法人福島県トラック協会、福島交通株式会社
仙台市	仙台医療福祉専門学校	2月6日（予定）	専門学生	43	東北運輸局	

1. バリアフリー教室の取組状況②

専門学生対象



仙台医療福祉専門学校

小学生対象



日本製紙クリネックススタジアム宮城

乗合バス乗務員対象



トラック協会研修センター

一般対象



大館圏域産業祭

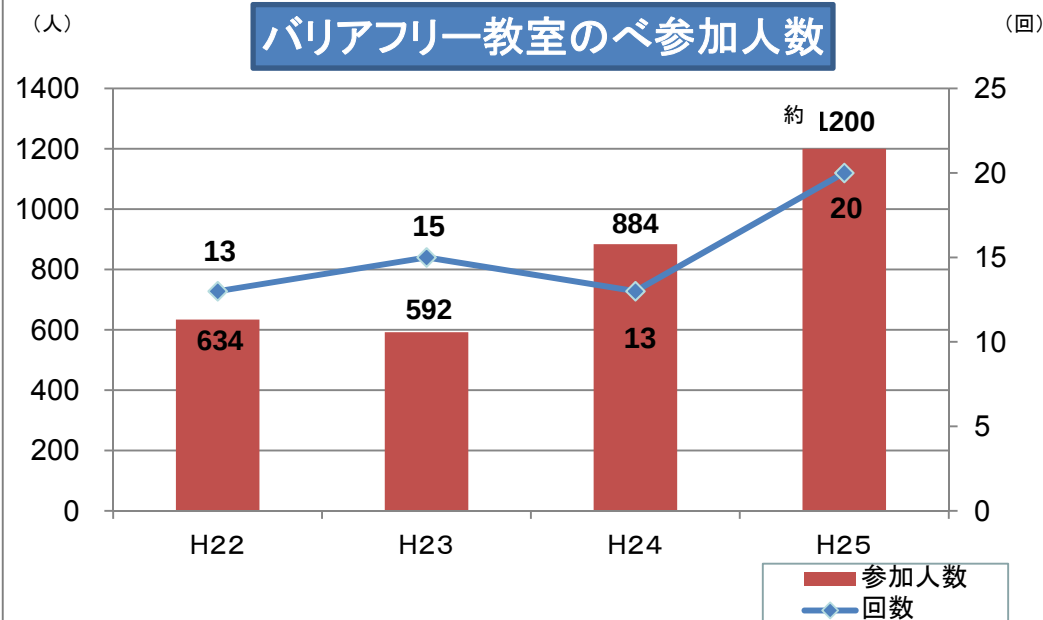
教育支援プログラム集

に掲載しました☆

東北運輸局では、みやぎ子ども教育支援ネットワーク協議会（仙台市教育局ほか）が作成し、宮城県内の小学校に配布した『教育支援プログラム集』に当局のバリアフリー教室の実施概要を掲載し、バリアフリーの必要性について積極的にアピールします!!



バリアフリー教室のべ参加人数



2. バリアフリーリーダー連絡会議（本局主催）

様々なバリアフリー施策について、今後も継続的かつ発展的に実施していく必要があることから、バリアフリーやユニバーサルデザインに関する有識者、専門家、熱心に活動を行う方々との関係を強化するためバリアフリーリーダーに出席していただき、リーダー同士のネットワーク化、バリアフリーの課題、展望、意見交換等を行うため開催。

□ 目的

バリアフリー化における有識者や専門家、熱心な活動を行う方々との関係性を強化し、現在及び今後のバリアフリー施策の推進に協力いただく人材の確保・育成を行う。

□ バリアフリーリーダーに期待する役割

～地域におけるバリアフリー化の展開、促進～

「心のバリアフリー」社会の実現



◆バリアフリー教室開催時の講師
◆バリアフリーボランティア活動の実施及び研修会の講演

専門家としての意見、提言



◆公共交通利便性向上・バリアフリー促進会議等への参画
◆バリアフリー施策に対する意見、提言

地域の啓発活動



◆バリアフリーセミナー、プロモーターの講師

地域における展開への働きかけ



◆市町村へのバリアフリー基本構想策定の働きかけ活動の参画
◆バリアフリー基本構想作成への参画

平成24年度開催状況

- 日 時：平成25年3月14日（木）
- 場 所：秋田市（ホテルメトロポリタン秋田）
- 共 催：東北地方整備局、東北運輸局



平成25年度開催状況（予定）

- 日 時：平成26年2月21日（金）
- 場 所：福島市（ホテル福島グリーンパレス）
- 共 催：東北地方整備局、東北運輸局

3. 公共交通利便性向上・バリアフリー促進会議（支局主催）

本会議では、交通アドバイザー（一般の交通消費者及びバリアフリーリーダー）と、関係自治体、公共交通事業者をメンバーとして、公共交通機関が提供するサービス改善やバリアフリーの促進に資する利用者ニーズとしての課題や提言等を的確に把握し各種施策へ反映させること等を目的。

人にやさしい公共交通を考える

～公共交通利便性向上・バリアフリー促進会議～

目的

- ・公共交通機関の利用者利便の向上
- ・バリアフリー化の促進

- ・地域の利用者ニーズの把握
- ・各種施策に反映するための発信

交通アドバイザー

（各運輸支局から8名程度委嘱）

学 識 経 験 者	高 齢 者 団 体	障 が い 者 団 体	通 勤 ・ 通 学 者	主 婦 ・ 外 国 人	N P O 法 人	バ リ ア フ リ ー リ ー ダ ー
-----------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------	--

関係機関等

（議題等に応じ適宜招集）

支 局 内 関 係 部 署	関 係 行 政 機 関	交 通 事 業 者 ・ 団 体	自 治 体
---------------------------------	----------------------------	--------------------------------------	-------------

平成25年度の開催状況（予定）

福島運輸支局主催	平成25年 9月 9日（月）、平成26年1月29日（水）予定
青森運輸支局主催	平成25年12月 2日（月）
秋田運輸支局主催	平成25年12月 6日（金）
山形運輸支局主催	平成26年2～3月予定

4. バリアフリー基本構想策定支援セミナーの開催

平成18年12月に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が施行されたことに伴い、多様な利用者の多彩なニーズに応え、すべての利用者がより円滑に利用できるよう、市町村による移動等円滑化基本構想の策定を支援しています。

これを踏まえ、東北運輸局及び東北地方整備局では、東北管内の自治体や交通事業者等を対象に「バリアフリー基本構想策定支援セミナー」を開催します。

平成24年度の開催状況

- 日 時：平成25年3月15日（金）
- 場 所：秋田市（秋田ビューホテル）
- 参加者：地方自治体、交通事業者等 47名
- 議 題・基調講演「災害とバリアフリー・地域公共交通について」北星学園大学 秋山 哲男 氏
 - ・講演「秋田県における生活と交通について」秋田大学 浜岡 秀勝 氏
 - ・パネルディスカッション
 - ★北星学園大学 秋山 哲夫 氏
 - ★秋田大学 浜岡 秀勝 氏
 - ★横手市 ☆にかほ市
 - ★社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会



平成25年度の開催状況(予定)

- 日 時：平成26年2月20日（木）
- 場 所：福島市（ホテル福島グリーンパレス）
- 参加者：地方自治体、交通事業者団体、観光関係団体、福祉関係団体ほか
- 議 題・基調講演「バリアフリー観光について（仮）」日本バリアフリー観光推進機構 中村 元 氏
 - ・パネルディスカッション
 - ★日本バリアフリー観光推進機構 中村 元 氏
 - ★飯坂温泉 松島屋旅館 高橋 美奈子 氏
 - ★ふくしまバリアフリースターセンター 佐藤 由香利 氏
 - ★東北運輸局バリアフリーリーダー 浜中 智美 氏

関東ブロックの取り組みについて

関東地方整備局 関東運輸局

平成26年1月17日

関東管内バリアフリーネットワーク会議

〈平成25年度本局開催〉

- 日 時：平成25年12月12日（木）13：30～16：00
- 場 所：九段第3合同庁舎 11階 国共用会議室
- 出席者：学識者、高齢者、障害者、施設設置管理者、関係団体、自治体等 69名
- 主 催：関東地方整備局・関東運輸局
- 座 長：日本福祉のまちづくり学会 秋山会長



〈基調講演 秋山会長〉

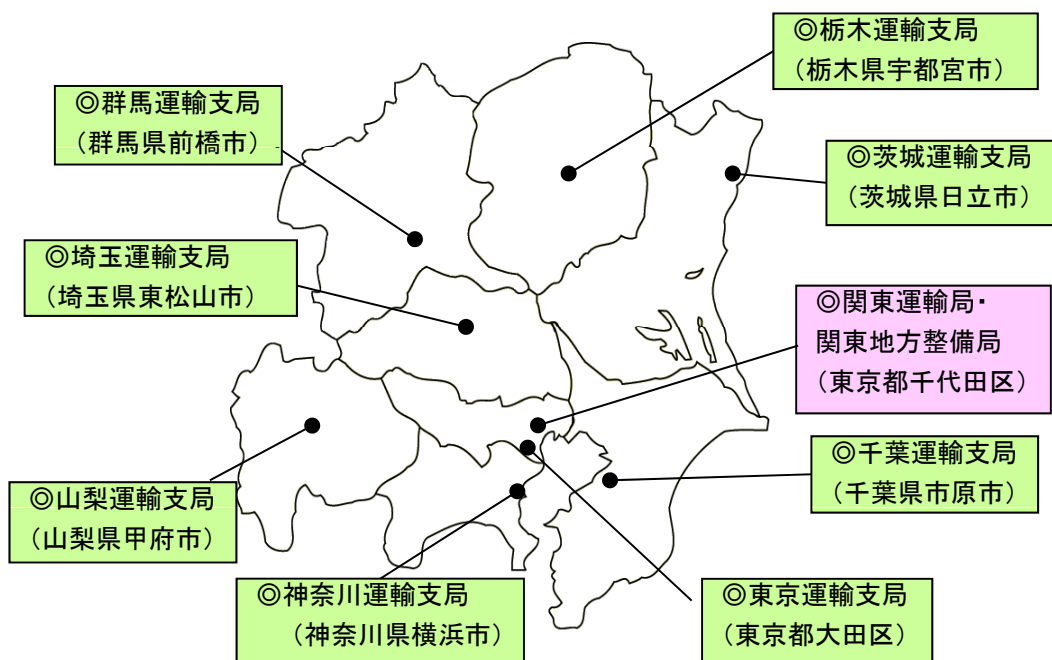


〈手話を使い意見を述べる委員の方〉

【議事次第】

- ◇基調講演「障害者の移動に拘わる最近の動き」について （日本福祉のまちづくり学会会長 秋山哲男 氏）
- ◇国のバリアフリーの取り組みについて （関東運輸局、関東地方整備局）
- ◇関東管内の各運輸支局バリアフリーネットワーク会議の概要について （千葉・茨城・神奈川・山梨運輸支局）
- ◇意見交換

平成25年度関東管内バリアフリーネットワーク会議開催状況



＜平成25年度支局開催＞（座長）

東京運輸支局：H25.12.11	（東京大学大学院 大森先生）
神奈川運輸支局：H25.11.26	（横浜国立大学大学院 中村先生）
千葉運輸支局：H25.11.12	（日本大学 藤井先生）
埼玉運輸支局：H25.12. 2	（東洋大学 高橋先生）
茨城運輸支局：H25.10. 2	（茨城大学 山田先生）
群馬運輸支局：H25.10.28	（公立前橋工科大学 湯沢先生）
栃木運輸支局：H26. 2. 7 予定	（宇都宮大学大学院 森本先生）
山梨運輸支局：H25.12. 4	（山梨大学大学院 佐々木先生）

In 関東地方整備局関東技術事務所

〔開催概要〕

- 日 時：平成25年9月10日（火）9：00～11：30
- 場 所：関東地方整備局関東技術事務所
- 参加者：中学2年生82名
- 主 催：千葉運輸支局（関東技術事務所と共催）
- 協 力：一般社団法人千葉県バス協会／松戸新京成バス株式会社
一般社団法人千葉県タクシー協会／有限会社東葛運転代行社
株式会社ダブリュタクシー／小金タクシー有限公司／
社会福祉法人松戸市社会福祉協議会／千葉日産自動車株式会社

〔プログラム〕

●オリエンテーション



●擬似体験／介助体験

- ・高齢者疑似体験
（ノンステップバス、福祉タクシー、敷地内広場）
- ・車椅子利用体験
（ノンステップバス、福祉タクシー、敷地内スロープ）
- ・視覚障がい者疑似体験
（ノンステップバス、敷地内点字ブロック、スロープ）
- ・ストレッチャー付き福祉タクシー利用体験（敷地内広場）
- ・UDタクシー利用体験（敷地内広場）
- ・ウェルキャブ車両利用体験（敷地内広場）



●まとめ



参加者の感想

- ・バリアフリー体験をできる施設があること自体に驚いた。
- ・体の不自由な方のために、バスやタクシーに色々な設備が備わっていることが分かって驚いた。
- ・自分が昔、車椅子を利用して大変な思いをしたので、今回の体験を将来に生かしていきたい。
- ・高齢者や障がい者の人は毎日大変だと思ったので、今後そういう人がいたら積極的に助けたい。
- ・今回の体験を通じ、最先端のバリアフリーがどのようなものか知りたくなった。
- ・2020年に東京でパラリンピックが開催されるので、今後ますますバリアフリーが進むと思う。



教員対象バリアフリー教室

〔開催概要〕

- 日 時：平成25年8月8日（木）9：00～16：30
- 場 所：宇都宮大学
- 参加者：幼・小・中・高・中等・特別支援学校教諭 55名
- 主 催：関東運輸局／栃木運輸支局
- 協 力：一般社団法人栃木県バス協会／一般社団法人栃木県タクシー協会
関東自動車（株）／アサヒタクシー（株）



自治体職員等対象バリアフリー教室

〔開催概要〕

- 日 時：平成25年11月12日（火）13：30～16：00
- 場 所：JR東日本五井駅／商業施設跡地
- 参加者：千葉県内市町村職員等 20名
- 主 催：千葉運輸支局／千葉県
- 協 力：JR東日本千葉支社／一般社団法人千葉県バス協会／小湊鐵道（株）
一般社団法人千葉県タクシー協会／市原市社会福祉協議会 等



「バス利用感謝デー」バリアフリー教室

〔開催概要〕

- 日 時：平成25年11月9日（土）11：00～15：00
- 場 所：赤れんが倉庫となり新港地区七街区
- 参加者：一般 60名
- 主 催：一般社団法人神奈川県バス協会／神奈川運輸支局
- 協 力：江ノ電バス株式会社横浜



社会福祉協議会と連携したバリアフリー教室

〔開催概要〕

- 日 時：平成25年7月18日（木）14：00～16：00
- 場 所：江ノ島電鉄鎌倉駅／鎌倉市立御成小学校
- 参加者：鎌倉市学級介助員／スクールアシスタント 38名
- 主 催：関東運輸局
- 協 力：鎌倉市社会福祉協議会／江ノ島電鉄（株）



北陸地方整備局・北陸信越運輸局 の取り組みについて

北陸地方整備局
北陸信越運輸局
平成26年1月17日

1. 基本構想作成促進について

2. 地域連絡会議の開催

○基本構想作成促進について

現状

- ・北陸信越運輸局管内の141市町村のうち、基本構想を作成済みの市町村は16市町(11.3%)、明確に作成を予定している市町村は5市(3.5%)のみ。
- ・平成20年4月以降、管内では基本構想作成がなく、頭打ちである。

課題

- ・自治体内の調整が困難
- ・財政上の問題
- ・基本構想作成メリットが伝えきれていない

対応

- ・バリアフリープロモーター派遣事業の実施
- ・バリアフリー教室の提案

○地域連絡会議の開催

バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会議

北陸地方整備局及び北陸信越運輸局では、バリアフリー法の施行に伴い、バリアフリーやユニバーサルデザインに関する事業や施策を継続的、発展的に推進する上で、関係者の意見調整や心のバリアフリーの更なる推進に尽力する人材等のニーズが想定されることから、バリアフリーやユニバーサルデザインに関する有識者、専門家、熱心に活動を行う者及び行政等との関係を強化し、今後のバリアフリー施策の推進に協力をして頂ける人材の確保・育成及び意見・情報交換等を行う場として、平成21年3月から「バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会議」を設置している。

平成22年度の第3回会議において、委員(アドバイザー)を各県に複数配置することにより、各県において活動しやすい環境の整備が提案され、環境整備を進めてきた。委員(アドバイザー)には障がい当事者及び関係者が含まれている。第6回会議開催にあたり、障がい当事者1名に就任いただいた。



3. バリアフリー教室

白山小学校
(新潟県新潟市)
【主催:北陸地方整備局】



【開催日時及び参加者】

・平成25年9月18日
小学生42名

【概要】

体験施設を利用した、

- ・車いす体験
- ・視覚障がい者疑似体験
- ・高齢者疑似体験

【参加者の意見】

・支え合うことが大切だな、と思いました。
・歩道の誘導ブロックの大切さが分かりました。

満日小学校
(新潟県新潟市)
【主催:北陸地方整備局】



【開催日時及び参加者】

・平成25年9月26日
小学生8名

【概要】

体験施設を利用した、

- ・車いす体験
- ・視覚障がい者疑似体験
- ・高齢者疑似体験

【参加者の意見】

・アイマスクをして歩くと前が見えず怖かった。
・バリアフリーの大切さが分かりました。

鳥屋野小学校
(新潟県新潟市)
【主催:北陸地方整備局】



【開催日時及び参加者】

・平成25年10月22日・24日
小学生137名

【概要】

体験施設を利用した、

- ・車いす体験
- ・視覚障がい者疑似体験
- ・高齢者疑似体験

【参加者の意見】

・ひざが思うように動かなくて、階段の登り降りが大変でした。困っているお年寄りがいたら、助けてあげたいです。

鳥越中学校
(石川県白山市)
【主催:北陸信越運輸局】



【開催日時及び参加者】

・平成25年9月19日・20日
中学生77名

【概要】

- ・地元の車いすバスケット選手を講師として招へいた「車いすバスケット体験」
- ・ノンステップバスを使用した「車いす乗降体験」

【参加者の意見】

・障がいがある人も私たちと同じ生活ができ、かわいそうではないことが分かった。

万代シティバスまつり2013
(新潟県新潟市)
【主催:北陸信越運輸局】



【開催日時及び参加者】

・平成25年9月21日
一般市民141名

【概要】

- ・ノンステップバスを使用した「車いす乗降体験」「高齢者疑似体験」
- ・ぬりえを使用した高齢者疑似「色の見え方」体験

【参加者の意見】

・今まで、このような体験をしたことを考えることがなかった。これからは困っている方がいればぜひ手を差し伸べたい。

南中野山小学校
(新潟県新潟市)
【主催:北陸信越運輸局】



【開催日時及び参加者】

・平成25年10月2日
小学生77名

【概要】

- ・障がい当事者による講話
- ・社会福祉協議会講師による「車いす体験」
- ・当局職員講師による生活体験中心の「高齢者疑似体験」

【参加者の意見】

・今まで歩くのが遅い高齢者などを見ると、心の中で「早く行ってよ」と思っていた。でも、体験をしてみたらつらいことが多く、これからは助けてあげたい。

中部ブロックの取り組みについて

平成26年1月

中部地方整備局 中部運輸局

《「高齢者」を対象としたバリアフリー教室を開催》

受講対象は、鯉城学園で生涯学習として福祉を学び、社会活動を行う意欲のある高齢者。

このバリアフリー教室で学ばれたことを、社会活動の中で実践し、周囲に発信されることを期待する。また、自らが年齢を重ね車いすユーザーとなった際にも、公共交通機関等を利用して積極的に社会に出ていただけるよう意識付けをすることもねらいとした。

開催概要

- 日時 平成25年10月18日(金)13:10～15:00
(擬似体験1時間 講話・質疑50分)
- 協力 名古屋市交通局
向日葵クラブ(ボランティア団体)
- 参加者 高年大学鯉城学園福祉学科2年生 43名
- 会場 中部地方整備局 中部技術事務所



バリアフリー教室 今年度の状況

年間20件の開催予定
17件実施済み

●中部管内の関係者が一堂に会する
「中部バリアフリー連絡会議」を開催予定。

【会議名称】 中部バリアフリー連絡会議

【日時場所】 平成26年2月26日(水)13時30分～16時30分
名古屋合同庁舎第1号館11階共用大会議室

【構 成 員】 中部管内5県(愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、福井県)

- ・有識者(バリアフリーリーダー含む4名)
- ・高齢者、障害者団体等
- ・交通事業者団体等
- ・行政機関(国・県・政令指定都市)

【議事内容】 <講演>海外のバリアフリー事例等について
<報告>国のバリアフリー施策実施状況
全国、中部のバリアフリー整備状況
<意見交換>
事前アンケート内容をもとに意見交換

●バリアフリー連絡会議を開催するにあたっての事前会議として、有識者より助言を受ける「中部アドバイザー会議」を開催。

【日 時】 平成25年11月1日(金) 13時30分～15時30分

【委 員】 ・磯部 友彦 中部大学教授
・板井 正斉 皇學館大学准教授
・臼井 隆雄 岐阜市障害者生活支援センター所長
・中内 茂樹 豊橋技術科学大学教授

【議 題】 中部地域におけるバリアフリー状況について
中部バリアフリー連絡会議の運営について

出された意見例

- ・基本構想は、建設部局と福祉部局をうまく繋ぐツールとなり得る。
基本構想を能動的にマネジメントすることが、国交省の役割となるのでは。
- ・ハードとソフトの両面を進めていかなければならない。
- ・心のバリアフリーによる成果を計ることが必要。
- ・意見聴取を行う場と、議論を行う場は、会議の場を分けるべき。

近畿ブロックの取り組みについて

平成26年1月
近畿地方整備局
近畿運輸局
神戸運輸監理部

■第2回近畿地域バリアフリーネットワーク会議

主 催：近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、大阪航空局

日 時：平成25年3月15日（金）13:30～15:30

場 所：大阪合同庁舎第4号館10階 海技試験室

出席者：バリアフリーリーダー、高齢者団体、障がい者団体(身体障害・視覚障害・聴覚障害・知的障害)、鉄道事業者、鉄道事業者団体、バス事業者団体、タクシー事業者団体、旅客船事業者団体、自治体(府県・政令指定都市)、国(近畿地方整備局・近畿運輸局・神戸運輸監理部・大阪航空局)

テーマ：災害時・緊急時における移動制約者への対応について

内 容：①国土交通省のバリアフリー施策について

②平成24年度バリアフリーネットワーク会議（支局単位）の報告（大阪・京都・兵庫）

③災害時・緊急時における移動制約者への対応について

④意見交換



■和歌山県バリアフリーネットワーク会議

主 催：近畿運輸局和歌山運輸支局

日 時：平成25年11月1日（金）13:30～15:30

場 所：和歌山県民文化会館6階 特別会議室

出席者：バリアフリーリーダー（学識経験者）、障がい者団体(身体障害、視覚障害・聴覚障害・知的障害)、鉄道事業者、バス事業者団体、観光協会、自治体(和歌山県・和歌山市、高野町)、国(近畿地方整備局・近畿運輸局及び和歌山運輸支局)

テーマ：旅行・観光の際の移動手段の確保とバリアフリーに関する情報提供

内 容：①バリアフリー及び情報提供に関する取り組み報告

②取り組み紹介・調査報告（自治体・NPO）

③意見交換



■バリアフリーなまちづくりを考えるつどい

主 催：近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、大阪航空局

日 時：平成25年10月28日（月）14:00～15:40

場 所：大阪歴史博物館 4階 講堂

参加者：公共交通事業者、関係団体、自治体 他 241名

内 容：①先進事例報告

＜阪急電鉄(株)＞

テレビ電話機能付き「駅係員よびだしインターホン」による
コミュニケーションのバリアフリー化の取り組み

＜阪神電気鉄道(株)・神戸市＞

旅客施設及び歩行者空間等の一体的・連続的なバリアフリー化
の推進

②パネルディスカッション

＜テーマ＞

「都市空間及び旅客施設等におけるバリアフリー化の取り組み」

＜コーディネーター＞

田中直人（島根大学大学院 総合理工学研究科 特任教授）

＜コメンテーター＞

岡田 明（大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授）

森田兼司（近畿運輸局 交通環境部長）

＜パネリスト＞

西浦一晴（阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 課長補佐）

植村 弘（阪神電気鉄道株式会社 都市交通事業本部 課長）

若林宏幸（神戸市都市計画総局 計画部計画課 係長）



■バリアフリー基本構想意見交換会

主 催：近畿地方整備局、近畿運輸局、奈良県

日 時：平成25年10月31日（木）9:30～11:30

場 所：奈良県庁内 会議室

出席者：奈良県内の基本構想策定済み5市町及び未作成の7市町の担当者

座長（近畿大学講師 柳原崇男）

内 容：①講演

- ・基本構想の現状と作成事例について（近畿運輸局）
- ・バリアフリー施設整備補助制度について（近畿地方整備局）
- ・奈良県内のバリアフリー基本構想に関する現状について（奈良県）

②意見交換



■バリアフリー教室（阪急夙川駅教室）

主 催：近畿運輸局

協 力：大手前大学、阪急電鉄(株)、西宮市社会福祉協議会

日 時：平成25年11月29日(金)9:10～12:20

場 所：大手前大学及び阪急夙川駅構内

受講者：大手前大学メディア芸術学部学生 30名

目 的：ユーザーの立場に立ったデザインの重要性を理解し、併せて心のバリアフリーの必要性を理解する

内 容：①講義

- ・バリアフリー整備について
- ・車いす利用者及び視覚障害者の介助について

②体験学習

- ・車いす体験、ロービジョン体験

③質疑応答・アンケート



■バリアフリー教室（しあわせの村教室）

主 催：神戸運輸監理部

協 力：神戸市社会福祉協議会、神戸市交通局

KOBE在宅ケア・ボランティアグループ「ほほえみ」

日 時：平成25年10月6日(日) 10:00～16:00

場 所：しあわせの村

受講者：「こうべ福祉・健康フェア」来場者向け 87名体験

目 的：心のバリアフリーの意識啓発等

内 容：①体験学習

- ・高齢者疑似体験
- ・車いす利用・同介助体験
- ・視覚障がい疑似体験・同介助体験

②課外授業

- ・バスのバリアフリー化と仕組み 等



■滋賀県「学校支援メニューフェア」への参画

主 催：滋賀県教育委員会

日 時：平成25年8月9日(金) 13:00～16:15

場 所：滋賀県大津市 「ピアザ淡海」

参加者：「学校支援メニュー」登録団体等

対象者：滋賀県内の小・中・高等学校、特別支援学校の教職員等 240人

目 的：滋賀県内の小・中・高校の教師等にバリアフリー学習など近畿運輸局の
の出前授業や体験学習メニュー等を紹介する



中国地方の取組について

《平成25年度バリアフリーネットワーク会議資料》

平成26年1月17日（金）

中国地方整備局 企画部企画課

中国運輸局 交通環境部消費者行政・情報課

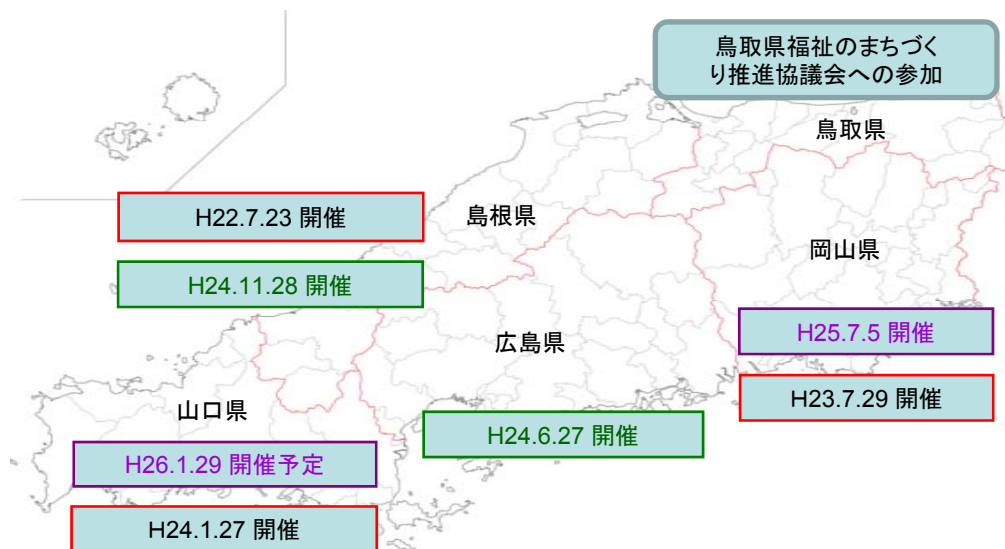
バリアフリー等地域会議の開催状況

中国地方バリアフリー等連絡会議

H20年度～年1回開催。
H23年度に国・自治体のみを構成員と
することで組織改編。
次回開催は、H26年度を予定。

各県バリアフリー等地域連絡会議

- ・事務局：中国地方整備局・中国運輸局
(広島・島根はH24年度～自治体も参加)
- ・平成22年度より各県単位で組織化
- ・開催状況：右図(毎年2県で開催)



会議構成員

- ◇ 学識経験者：大学の建築・福祉系学科の教授等
- ◇ 障がい者・高齢者団体(身体障害者連合会、視覚障害者協会、聴覚障害者協会、精神障害者連合会、自閉症協会、老人クラブ)
- ◇ 交通事業者等：鉄軌道事業者、バス/タクシー協会、旅客船協会、空港ビル管理事業者、ホテル協会、旅館生活衛生同業組合
- ◇ 国：整備局(本局・国道事務所)、運輸局(本局・支局)
- ◇ 自治体：各県、市(市のメンバーは県と調整のうえ決定)土木系・福祉系・交通系の担当部署
- ◇ その他必要に応じて(例：講演講師、バリアフリーリーダー)

議題

- ◇ 構成員のバリアフリーに関する取組状況
- ◇ バリアフリーリーダーの推薦・承認
- ◇ 統一テーマについて、意見交換(バリアフリーに関する情報発信のあり方)
- ◇ 講演 等



バリアフリー教室

H25年度（受講対象者及び体験項目を拡大）

整備局、運輸局、自治体職員向けバリアフリー教室

●日時 平成25年7月25日（木）

内容

- ・聴覚障害当事者による講演。
- ・知的障害を持つ親による寸劇等を通じて、言語コミュニケーションの難しさを体験。
- ・車いす当事者による介助方法等の講義及び車いす体験。
- ・高齢者疑似体験キット、妊婦体験キットを装着して、階段昇降等を体験。
- ・高齢者体験ゴーグルを装着して、文字や色の見えにくさを体験。



広島大学ホームカミングデー

●日時 平成25年11月2日（土）

対象 一般来場者、大学生等

内容

- ・ノンステップバスのバリアフリー設備紹介。
- ・車いすの取り扱い方法。
- ・車いすによる乗降体験。
- ・高齢者疑似体験キットを装着しての乗降体験。
- ・高齢者体験ゴーグルを装着して、文字や色の見えにくさを体験。



BEST研修

●日時 平成26年2月22日（土） 実施予定

内容

- ・エコモ財団による講義（接遇、介助の必要性和意義、障害のあるお客様とのコミュニケーションの基本）
- ・車いす当事者等による講義と実技
- ・視覚障害者協会による講義（日常生活と移動）、視覚障害に係る接遇、介助方法（講義と実技）
- ・知覚障害、精神障害に係る講義（日常生活と移動）
- ・グループディスカッション

平成25年度第2回全国バリアフリーネットワーク会議

四国ブロックの取り組みについて

平成26年1月17日(金)

四国地方整備局 企画部 企画課

四国運輸局 交通環境部 消費者行政課

①四国におけるバリアフリーの取り組み状況

共催の取り組み

1. バリアフリー推進四国地域連絡会議の開催(年1回)
2. バリアフリー化推進功労者表彰候補者の推薦

単独での取り組み

【整備局】

- ・バリアフリー化の施設整備事業の推進
- ・ユニバーサルデザイン歩行体験コースにてバリアフリー教室の開催

【運輸局】

- ・交通バリアフリーニュースの配信
- ・基本構想作成支援プロモーターの派遣
- ・鉄軌道バリアフリー推進会議の開催
- ・優良事業者等局長表彰(福祉・バリアフリー対策への貢献)
- ・バリアフリー教室の開催
- ・消費者行政インタビュー

②バリアフリー地方連絡協議会

【バリアフリー地方連絡協議会】前年度・平成25年3月6日開催（年1回）

○会議名称： バリアフリー推進四国地域連絡会議」運輸局単位で実施。

○メンバー： 有識者2名（大学教授・大学講師）、当事者団体7名（(財)香川県身体障害者協会他）、施設設置管理者5名（JR他）、自治体8名（県・市）、整備局・運輸局・空港事務所。

○議 題：

- ・ 学識経験者によるバリアフリー等に関する講演
- ・ 全国バリアフリーネットワーク会議報告
- ・ 四国運輸局及び四国地方整備局の取組報告
- ・ 徳島県におけるユニバーサルデザイン推進の施策
- ・ 四国運輸局長表彰（福祉・バリアフリー）
- ・ バリアフリーリーダーの確保・育成について
- ・ 意見交換会等

（前年度例）

○成 果： バリアフリー教室については、広がりを見せることが大事で、小学生の教室に親を呼んではどうかとの意見を受け、今年度は学校のオープンスクールの日教室を開催するなどしたところ父兄の見学等があった。

③バリアフリー教室

四国地方整備局

ユニバーサルデザイン歩行体験コースにてバリアフリー教室【四国技術事務所（香川県）】

◆平成17年6月開設

◆利用目的は、福祉・介護を学ぶ学生の授業の一貫としての体験、小・中学校の総合学習、婦人団体や老人会などの学習、道路行政にたずさわる人たちの体験 など

◆体験器具（車いす、子供用車いす、介護用車いす、電動車いす、電動カート、視覚障害者体験セット、白杖、老人体験セット）

●平成25年度利用実績

- 新規職員採用研修 3名
- (社)高知県建設技術公社 37名
- (株)田中建設 5名
- 香川短期大学生活文化学科 29名
- 野州市商工会 9名
- 徳島県 県土整備部 13名
- 倉敷市役所 26名 など

●これまでの利用者数

- ・平成17～20年度 154団体2,025名
- ・平成21年度 20団体443名
- ・平成22年度 17団体466名
- ・平成23年度 9団体161名
- ・平成24年度 5団体113名



四国運輸局

平成13年度からのバリアフリー教室は、平成25年12月末現在、計67回 3,809名（一般105名、小学生3,375名、交通事業者等329名）が受講。消費者行政課及び運輸支局（企画部門）共同で実施。

【平成25年度開催状況】

（香川） さぬき市立津田小学校5年生 51名
丸亀市立城辰小学校5年生 77名
高松空港内従業員等（予定）

（徳島） 徳島市立上八万小学校4年生 50名
徳島市立八万南小学校4年生 84名
藍住町立藍住西小学校4年生 106名
徳島阿波おどり空港内従業員等（予定）

（愛媛） 西条市立楠河小学校3年生16名、4年生18名

（高知） 高知市立神田小学校3年生 89名

【教室の内容】

小学生を対象としたバリアフリー教室は、主に、ノンステップバスを使用した公共交通の利用促進や介護タクシーなど車両のバリアフリーの学習などを併用した教室を開催。疑似・介助体験メニューは、アイマスクを使用した視覚障害者体験、車いすを使用した体験、シニアポーズを使用した高齢者疑似体験等を実施。出前講座等で使用する冊子 “バリアフリーと心のバリアフリー” を教室時に活用。

【取り組みの成果】

- 毎年（隔年）申し込みのある小学校が増加
- テレビ放映・新聞掲載された学校あり
- 父兄の方による見学があった（学校のオープンスクール日に開催等）

九州地方整備局・九州運輸局のバリアフリーの 取り組みについて

平成26年1月17日
九州地方整備局企画部企画課
九州運輸局交通環境部消費者行政・情報課

Ⅰ.「九州バリアフリー等連絡会議」の開催

九州運輸局及び九州地方整備局は、平成22年度より「九州バリアフリー等連絡会議」を年1回開催しています。この会議は、高齢者、障がい者をはじめとする全ての人のために、安全、快適に暮らしていける生活環境を実現するなど、バリアフリー化の推進について、地域に密着した情報の共有をはじめとした意見交換等を行うことで相互間の理解を深め、より良い協力関係を築き、連携してバリアフリー化の進展を目指すことを目的としています（座長：国際医療福祉大学教授 齋場 三十四（バリアフリーリーダー））。

「九州バリアフリー等連絡会議」開催状況

第1回：平成23年3月 7日開催

第2回：平成24年2月15日開催

※九州運輸局交通バリアフリー等関係表彰式を併せて開催

第3回 平成25年2月 6日開催

※九州運輸局交通バリアフリー等関係表彰式を併せて開催

第4回 平成26年2月17日開催予定

議 事：①全国バリアフリーネットワーク会議の報告

②九州運輸局におけるバリアフリー施策について

③九州地方整備局におけるバリアフリー施策について

④各県におけるバリアフリーの取り組み

⑤各団体等におけるバリアフリーの取り組み

⑥意見交換

※九州運輸局交通バリアフリー等関係表彰式を併せて開催予定



「九州バリアフリー等連絡会議」メンバー

- ・各県バリアフリーリーダー7名、
- ・障がい者等団体9団体
- ・交通事業者2社
- ・交通事業者団体4団体
- ・空港施設管理者1社
- ・旅館ホテル団体1団体
- ・各県バリアフリー施策担当部署
- ・政令市バリアフリー施策担当部署
- ・国関係機関（運輸局、整備局、大坂航空局）
- ・オブザーバー等

意見交換・情報の共有

- ・各地域の委員からの取組報告、意見、提言の収集
- ・バリアフリー施策の情報提供等

II. バリアフリー化の推進

心のバリアフリー施策の推進（交通バリアフリー教室の開催）

高齢者や障害者等の介助体験、疑似体験等を通じて、バリアフリーについて理解を深めると共にボランティアに関する意識を高め「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

平成25年度 交通バリアフリー教室開催状況 〈平成25年12月末現在〉

※	平成25年 7月23日	福岡合同庁舎新館	九州運輸局係員15名
	平成25年 8月 2日	西鉄花畑駅（福岡県久留米市）	西鉄電車駅務員22名
	平成25年 8月29日	鹿児島県民交流センター（鹿児島市）	ホテル従業員及び交通事業者22名
	平成25年 9月10日	千早小学校（福岡市）	小学4年生114名（授業参観日）
	平成25年 9月10日	九州地方整備局九州技術事務所（福岡県久留米市）	小森野小学校4年生45名
	平成25年10月17日	植田小学校（大分市）	小学4年生70名
	平成25年10月18日	寒田小学校（大分市）	小学4年生98名
	平成25年11月19日	畝刈小学校（長崎市）	小学4年生111名
※	平成25年11月27日	諸富北小学校（佐賀市）	小学4年生55名
	平成25年12月13日	香椎小学校（福岡市）	小学4年生112名

※は九州地方整備局と合同開催

平成25年度交通バリアフリー教室の取組

- ・障がい者への理解をより深めるため、障がい者の方々にバリアフリー教室へ参加してもらう（疑似体験講師、講話等）。
- ・盲導犬協会と連携した取組（盲導犬とふれ合うことでバリアフリーに興味を持ってもらう）。
- ・小学校で開催する際は、学校開放日や授業参観日に実施し、受講者層の拡大を図る。
- ・バスのみならず、UDタクシーを利用してのバリアフリー対策等の周知。
- ・報道機関等に取材要請を行い、ニュースに取り上げてもらうことで取組内容を広く周知。



（障がい当事者、盲導犬とふれ合う小学生）



（授業参観日、後ろで子供達を見守る保護者）



（UDタクシーを利用しての教室）

II-1. 平成25年度 九州地方整備局(単独)バリアフリー教室の開催状況

平成25年12月末現在

会 場 名	場 所	日 程	参加対象者	参加人数	主 催	部 署 TEL	備 考
久留米市	九州技術事務所	6月10日	福岡市中央区役所 地域整備課	4	九州技術事務所	防災・技術課 品質調査課 施工調査・技術活用課 0942-32-8245	
久留米市	九州技術事務所	7月18日	交通対策研修生（九州地方整備局）	25	九州地方整備局	交通対策課 092-471-6331	
久留米市	九州技術事務所	8月20日	佐賀国道事務所	3	九州技術事務所	防災・技術課 総務課 0942-32-8245	
久留米市	九州技術事務所	9月10日	久留米市立 小森野小学校	45	九州地方整備局	総務課・経理課 火山防災減災課 防災・技術課 0942-32-8245	九州地方整備局企画課、 九州運輸局、久留米市社会福祉協議会と合同実施
久留米市	九州技術事務所	9月19日	久留米市立 荒木中学校	21	九州技術事務所	経理課 品質調査課 防災・技術課 0942-32-8245	
久留米市	九州技術事務所	9月20日	佐世保市 社会福祉協議会	28	九州技術事務所	品質調査課 防災・技術課 0942-32-8245	
久留米市	九州技術事務所	9月25日	基礎技術アスファルト講習会Ⅰ期受講生（九州地方整備局）	8	九州技術事務所	品質調査課 0942-32-8245	
久留米市	九州技術事務所	10月22日	基礎技術アスファルト講習会Ⅱ期受講生（九州地方整備局）	6	九州技術事務所	品質調査課 0942-32-8245	
久留米市	九州技術事務所	11月19日	基礎技術アスファルト講習会Ⅲ期受講生（九州地方整備局）	9	九州技術事務所	品質調査課 0942-32-8245	
久留米市	九州技術事務所	11月22日	福岡市保健福祉局	10	九州技術事務所	防災・技術課 施工調査・技術活用課 経理課 0942-32-8245	
久留米市	九州技術事務所	12月13日	（一財）安全交通試験研究センター	2	九州技術事務所	総務課 防災・技術課 0942-32-8245	
熊本市	熊本市立飽田東小学校	5月30日	熊本市立飽田東小学校4年生	77	九州地方整備局 熊本河川国道事務所	交通対策課 096-382-1214	バリアフリー体験（車イス、視覚障害疑似、高齢者疑似）
熊本市	熊本市立田迎南小学校	9月5日	熊本市立田迎南小学校4年生	90	九州地方整備局 熊本河川国道事務所	交通対策課 096-382-1214	バリアフリー体験（車イス、視覚障害疑似、高齢者疑似）
熊本市	熊本市立銭塘小学校	10月24日	熊本市立銭塘小学校4年生	22	九州地方整備局 熊本河川国道事務所	交通対策課 096-382-1214	バリアフリー体験（車イス、視覚障害疑似、高齢者疑似）

Ⅲ. バリアフリー勉強会・懇談会への参加、開催

九州運輸局では「交通消費者の利便性の向上」「交通バリアフリー化の推進」など、消費者行政の推進に積極的に取り組んでいます。交通バリアフリー化施策に障がい者等皆様の意見等を反映させるために障がい者団体等の勉強会や懇談会に積極的に参加、開催しています。

交通バリアフリーに関する障がい当事者との懇談会

懇談会開催状況

●障害者の権利を守る連絡協議会・九州運輸局共催
運輸局各モード担当課長及び交通事業者、交通事業者団体、行政が要望等に回答、意見交換を行っている。

- ・平成16年 4月 九州運輸局
- ・平成18年10月 九州運輸局
- ・平成20年 9月 九州運輸局
- ・平成22年10月 九州運輸局
- ・平成23年11月 鹿児島運輸支局
- ・平成24年12月 九州運輸局(障害者週間に実施)
- ・平成25年12月 鹿児島運輸支局(障害者週間に実施)



意見を反映

九州バリアフリー等
連絡会議

情報共有

情報共有

各運輸支局、
交通事業者等

沖縄におけるバリアフリーの取組について

内閣府沖縄総合事務局

平成26年1月16日



内閣府
沖縄総合事務局

■ 離島でバリアフリー対応船を利用した教室を開催

- 対 象：多良間小学校3、4年生 22名
日 時：平成25年10月17日（木）13:30～16:00
場 所：フェリーたらまゆう（座学・体験学習） ＊バリアフリー対応船
- 主 催：内閣府沖縄総合事務局運輸部・開発建設部
共 催：多良間村教育委員会、多良間村社会福祉協議会
協 力：合資会社多良間海運
- 内 容：高齢者や障がい者に対するコミュニケーション方法等についての座学
フェリーを活用した高齢者疑似体験、アイマスク体験、車いす体験
船員の仕事紹介



<車いす体験>

■ 那覇市でノンステップバスを利用した教室を開催

- 対 象：石嶺小学校4年生 143名
日 時：平成25年10月29日（木）
午前 9:30～12:00、午後 13:00～15:30 の二班に分けて実施
- 場 所：沖縄県総合福祉センター（座学・体験学習）
- 主 催：内閣府沖縄総合事務局運輸部・開発建設部
共 催：社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会
協 力：NPO法人脳文庫、那覇バス（株）
- 内 容：高齢者や障害者に対するコミュニケーション方法等についての座学及び
高齢者疑似体験、アイマスク体験、車いす体験、ノンステップバス体験



<高齢者疑似体験>

運輸事業者向けバリアフリー研修

対 象：バス、モノレール、旅客船事業者の乗務（船）員や管理者等 40名

日 時：平成25年8月30日（金）9:00～16:40

場 所：沖縄総合事務局

主 催：内閣府沖縄総合事務局運輸部・開発建設部

協 力：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、NPO法人バリアフリーネットワーク会議、

心友会、一般社団法人沖縄県聴覚障害者協会、社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会、沖縄

NPO法人沖縄県脊椎損傷者協会、有限会社Commit、

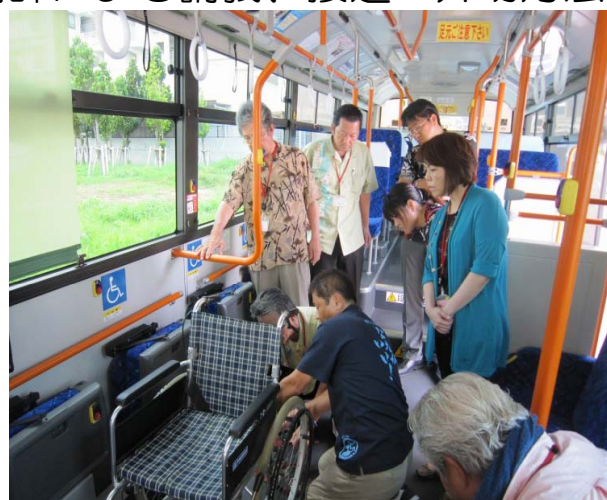
NPO法人おきなわ自立支援センター「おきなわ工房」、那覇バス株式会社

内 容：BEST研修

（障がい者団体講師による講義、接遇・介助方法実技及びグループディスカッ



<講義の様子>



<ノンステップバスを活用した
車いす固定の実技>



<障がい者団体講師を交えた 42
グループディスカッション>

バリアフリープロモーター活動

■ 自治体の担当課長等に対してバリアフリー基本構想策定を働きかけ

6月 宜野湾市、8月 浦添市、11月 那覇市、12月 石垣市

（参考）沖縄におけるバリアフリー・情報セミナー（平成25年5月22日、那覇市）

主催：NPO法人健やかまちづくり

後援：国土交通省、内閣府沖縄総合事務局

内容：NPO法人健やかまちづくり 秋山理事長による基調講演

国土交通省のバリアフリー施策の紹介

沖縄における優良事例紹介（宮古島市バリアフリー基本構想、沖縄都市モノレール）等

沖縄地方バリアフリー推進連絡会議

構成員：有識者、地方自治体、観光・運輸関係団体、社会福祉関係団体等

時期：次回は3月予定（年1回開催）

内容：各団体からの取組報告と意見交換

沖縄地方バリアフリー有識者会議

構成員：有識者（バリアフリーリーダーを含む5名）

時期：次回は3月予定（年1回開催）

内容：今年度の取組報告及び平成26年度の取組方針についての意見交換